

平成24年第1回春日那珂川水道企業団議会定例会（第1日）

1. 出席議員（9名）

1番	村山正美	2番	中原智昭
3番	春田智明	4番	原口憲雄
5番	上野彰	6番	柴田英明
7番	岩切幹嘉	8番	津口勝也
9番	平山ひとみ		

2. 欠席議員（1名）

10番 五藤源寿

3. 説明のために出席した者の職氏名（9名）

顧問 (春日市長)	井上澄和	顧問 (那珂川町長)	武末茂喜
企業長	川原康義	局長	白水満
総務課長	松永明	企画財政課長	櫻井隆司
浄水課長	山崎巖	施設課長	重松岩敏
料金課長	笹淵福美		

4. 出席した事務局職員の職氏名（3名）

事務局長	松永明	書記	山川誠治
書記	日下部貴範		

5. 議事日程第1号

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号及び議案第2号の上程、提案理由の説明

6. 会議に付した事件名

議案第1号 平成23年度春日那珂川水道企業団水道事業会計補正予算案（第2号）

議案第2号 平成24年度春日那珂川水道企業団水道事業会計予算案

開会 14時00分

○上野議長 こんにちは。

本日は、五藤源寿議員から欠席の届けが出席しております。

定足数に達しておりますので、ただいまから平成24年第1回春日那珂川水道企業団議会定例会を開会をいたします。

本日の会議は、お手元に配付いたしております議事日程第1号により議事を進めてまいります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

1 番村山正美議員、2 番中原智昭議員を指名をいたします。

日程第2、会期の決定を議題といたします。

今次定例会の会期は、本日、あすの2日間と決定したいと存じますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○上野議長 異議なしと認めます。よって、今次定例会の会期は、本日、あすの2日間と決定をいたしました。

日程第3、今次定例会に提出されております議案第1号及び議案第2号を一括議題といたします。

早速、提案理由の説明を求めます。

川原企業長。

○川原企業長 本日、ここに平成24年第1回春日那珂川水道企業団議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましてはお忙しい時期にもかかわらず御参集いただき、まことにありがとうございます。

提案に先立ちまして、現在の状況について御報告を申し上げます。

まず、2月2日からの大寒波によって、2月5日までの間に各家庭の給水管の凍結が約100件、凍結による漏水が約150件ほどございましたが、職員や協力業者の迅速な対応で、大きな混乱もなく修理等を終えております。

また、東隈改良事業につきまして、地元との協議を重ねておりますが、いまだ合意に至っておらず、予定しておりました入札公告に至っておりません。今後は、さらに地元との協議を重ね、町の協力もいただきながら進めてまいり所存でございます。

なお、詳しい状況につきましては、後ほど担当課から説明をさせたいと思いますので、よろしく願いいたします。

さて、本日提案いたしております議案について御説明申し上げます。

議案第1号平成23年度春日那珂川水道企業団水道事業会計補正予算案でございます。

収益的収入及び支出については、収入は受取利息の増、固定資産の売却益等によって1,700万円余の増額補正、支出は各費用の不用額を見込まれるものについては減額し、また減価償却費、消費税等の増額とあわせまして2,700万円余の補正減となっております。その結果、平成23年度の純利益は税抜きで3億500万円余を見込んでおります。

一方、資本的収支につきましては、収入において1,700万円余の増額補正をし、支出におきましては9,400万円余の減額となり、資本的収支不足は4億7,500万円余となり、留保資金等で補てんする見込みでございます。

次に、議案第2号平成24年度春日那珂川水道企業団水道事業会計予算案でございます。

まず、収益的収入でございますが、26億7,500万円余を計上しております。料金収入が前年度と比較すると約1億円余減額しておりますが、これは23年度に行いました検針サイクルの変更によって、年間の調定日数がふえておりました。新年度からは、従来 of 年間調定を計上したものでございます。また、固定資産の売却益としまして5,500万円余を計上しております。

一方、収益的支出におきまして、当初予算23億9,200万円余を計上しております。減価償却費や負担金が前年度と比べ増額しているものの、全体的に各項目で予算減額となっており、23年度当初比で6,900万円余の減となっております。

結果、当初予算で純利益は消費税を除いて2億5,900万円余の見込みでございます。

次に、資本的収入でございますが、1億9,400万円を計上しております。24年度は企業債の借り入れをしないことから、23年度と比較すると1億4,000万円余の減となっております。

一方、資本的支出の当初予算は9億8,800万円余で、必要な施設や管の更新等を実施してまいります。

結果、資本的収支不足額は7億9,400万円余となり、留保資金等で補てんをする見込みでございます。

ただいま上程いたしました議案、これはいずれも水道事業運営上極めて重要な案件でございます。何とぞ慎重な御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明を終わらせていただきます。

なお、詳細につきましては担当課長から補足説明をさせますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○上野議長 企業長による提案理由の説明はただいま終わりました。

次に、補足説明を求めます。

櫻井企画財政課長。

○櫻井企画財政課長 企画財政課長の櫻井でございます。私のほうから議案第1号、議案第2号の補足説明をさせていただきます。

平成23年度補正予算案（第2号）でございます。

赤いインデックスのついた議案第1号関連資料をお願いいたします。

2ページでございます。

水道事業収益におきまして、補正予算額1,750万円の増額を行っております。

営業外収益の負担金、これは福岡地区水道企業団への両構成団体からの繰入金でございますが、この出資金、繰出金に変更が生じ200万円の減。

その他営業外収益、これは国債等の売却により1,000万円の増額となっております。

特別利益、固定資産売却益950万円の増、春日市塚原台のポンプ跡地を売却しました分の益をここに計上しております。前年度未売りに出しましたが売却に至らず、今回ようやく950万円で売却できた次第でございます。

一方、水道事業費用でございます。

営業費用、原水及び浄水費でございます。1,290万円の減。主には、工事入札落差及び水質検査委託料の減によるものでございます。

配水及び給水費50万円の減。

業務費500万円の減でございます。主には、委託料関係の入札落差でございます。

総係費1,210万円の減。職員の給与及び手当等及び委託料等の減額をするものでございます。

受水費180万円の減。福岡地区水道企業団からの受水で、若干のカットがあつておる関係で減額が生じております。

減価償却費1,043万円の増、資産減耗費511万9,000円の減。

3ページをお願いします。

営業外費用200万円の減。福岡地区水道企業団への繰出金等の減による負担金の減額でございます。

消費税及び地方消費税721万1,000円の増。特別損失、固定資産売却損610万円の減でございます。

ここで、議案第1号説明資料の10ページ、A3の表をごらんください。

この補正を行いましたことで、収益的収支の差し引き額は3億2,012万8,000円となり、税抜き後の純利益は3億578万8,000円となります。

先ほどの議案第1号関連資料4ページに戻っていただきまして、資本的収入及び支出で
ございます。

資本的収入において1,780万円の増。内訳ですが、工事負担金1,380万円の増。これは、
水道を新たに引く場合に加入負担金等がございます。その加入負担金の増によるもので
ございます。

国庫補助金400万円の減。

出資金400万円の減。これは、五ヶ山ダムの工事の減に伴うものでございます。

固定資産売却代金1,200万円の増。当初、予算編成時には課税評価額で計上していたも
のを、売買のため今年度不動産鑑定した結果、評価に差が生じたため、評価額を見直すも
のでございます。

資本的支出でございます。9,452万3,000円の減。

建設改良費、水源浄水場施設整備費において240万円の減。

配水施設整備費8,000万円の減。これは、県関連の道路整備事業が中止や延期になった
ことによりまして、当企業団の水道管理設ができなくなり工事費を減額するもの、及び入
札差額等によるものでございます。

五ヶ山ダム建設事業費1,200万円の減。

諸設備費210万円の減。これは、水道メーター購入費等の減によるものでございます。

国庫補助金返還金197万7,000円。補助金の消費税相当分を国に返還するものです。

先ほどの10ページ、A3の表をごらんください。

資本的収入の左の表の一番下になります。この補正を行った関係で、資本的収支不足額
が当初5億8,792万円余から1億1,232万円の減となり、4億7,560万3,000円の不足とな
ります。これにつきましては、右端の一番下になりますが、補てん財源としまして減債積立
金3,000万円、消費税資本的収支調整額1,591万7,000円、過年度留保資金等4億2,968万
6,000円で補てんを予定いたしております。

続きまして、議案第2号の説明に入ります。

議案第2号につきましては、議案第2号説明資料をお願いいたします。A3の表でござ
います。

水道事業収益、営業収益でございます。25億2,819万7,000円。

給水収益24億1,061万2,000円。23年度と比べまして1億58万円ほど減となっております。
これは、昨年の当初予算のときにお話しさせていただきました検針サイクルの見直し
による期間のずれから、23年度だけ奇数月に検針する地区の期間が1カ月分増の13月分と
なり、料金増となっております次第でございます。

その他営業収益、これは構成団体の下水道料金徴収の委託を受けておる受託料でございます。1億1,758万5,000円でございます。

営業外収益、負担金、福岡地区水道企業団への負担金及び子ども手当等の構成団体からの繰出金でございます。6,498万3,000円。

その他営業外収益2,682万6,000円。受取利息等でございます。

特別利益、固定資産売却益554万7,000円。原町浄水場の改良に伴いまして原町配水塔が不用となったことから、解体後の跡地を売却するため売却益を計上しております。

次に、水道事業費用でございます。23億9,219万3,000円。

営業費用の1目原水及び浄水費でございます。浄水場運転及び維持管理の費用でございます。3億1,441万2,000円。

配水及び給水費、これは施設課の費用でございます。各家庭への配水管等の維持管理及び修繕等が含まれております。9,876万円でございます。

業務費4,802万円。料金課の予算です。料金徴収に要する費用でございます。

総係費4億7,949万5,000円。これは、総務課、企画財政課の費用及び資本勘定職員を除きます職員の人件費等でございます。

議会費460万9,000円、監査費91万7,000円。

受水費3億5,772万4,000円、これは福岡地区水道企業団からの受水費用でございます。

減価償却費7億8,581万9,000円、資産減耗費298万5,000円。

営業外費用、1目の負担金でございます。6,051万9,000円。先ほど言いました構成団体からの繰り入れられた分を福岡地区水道企業団へ支払うものでございます。

支払い利息1億7,565万6,000円。企業債の利息でございます。

雑支出288万2,000円、消費税及び地方消費税5,539万5,000円。

予備費でございます。500万円でございます。

結果、収益的収支の差し引き額は2億8,322万円となり、税抜き後の当年度純利益は2億5,995万2,000円となります。

下段に移りまして、資本的収入及び支出でございます。

資本的収入の24年度の当初予算額としましては1億9,440万8,000円。内訳ですが、24年度は東隈改良工事を見据え、企業債の借り入れをしないこととしております。

工事負担金、水道に加入するときに必要となります加入負担金及び消火栓工事負担金の収入でございます。1億5,561万2,000円。

国庫補助金1,742万7,000円。

出資金、これは春日市、那珂川町からの一般会計出資金でございます。1,742万

7,000円。いずれも五ヶ山ダムの関係でいただくものでございます。

固定資産売却代金394万2,000円。原町配水塔跡地の帳簿価格の分をここに計上しております。

右側の表の資本的支出でございます。9億8,887万9,000円。

建設改良費、水源浄水場施設整備費1億6,813万8,000円。

配水施設整備費4億1,768万3,000円。水道管の布設及び布設がえの費用でございます。

24年度は企業債の借入れを行わないことから、若干絞り込んでおります。

五ヶ山ダム建設事業費5,902万7,000円。

諸設備費1,358万3,000円。雇用者駐車場に屋根を取りつける費用が増額となっております。

企業債償還金3億2,944万8,000円。これは、企業債の償還元金でございます。

予備費100万円となりまして、資本的収支不足額は7億9,447万1,000円となりまして、これにつきましては内部留保資金等で補てんしたいと考えております。

2ページ目をお願いいたします。

業務量ですが、給水人口を15万609人と見込んでおります。

有収水量1,232万9,169立方メートル。前年度より約49万立方メートルほど減となっておりますが、検針サイクルの見直しにより1カ月分が水量の増となっておりますので、23年がふえているものでございます。

配水量でございます。1,334万6,131立方メートルでございます。

その結果、有収率でございますが、見込み有収率としましては92.4%となります。

その下の供給単価でございます。186円21銭。これは、1立方メートル当たりどれだけ収益を得ているかをあらわすものでございます。

給水原価186円17銭。これは、1立方メートル当たりどれだけ費用がかかっているかをあらわすものでございます。毎回申し上げさせてもらっておりますが、この給水原価の中には水道費用以外の費用が含まれております。福岡地区への出資金等が含まれておりますので、それを除きますと181円26銭となります。

続きまして、3ページをお願いいたします。

企業債の概要でございます。上段のほうに22年度末から24年度末の予定残高を記載しております。平成22年度末残高としまして72億2,575万4,000円余でありました。それが平成24年度末では67億3,303万9,000円余となる予定でございます。行革の目標としております24年度末70億円の目標は、現在のところ達成できる見込みです。

下段の表には、平成24年度末における企業債の利率別分布状況を記載しております。い

まだ5.0%以上6.0%未満といったものが残っております。この分につきましては、国等へ働きかけ、繰上償還できるように努力していく次第でございます。

4ページから7ページには、各課の主な概要を記載しております。

また、8ページ以降には費用節別明細書ということで記載しております。

以上で議案第1号、議案第2号の補足説明を終わらせていただきます。

○上野議長 以上で本日の日程は終了をいたしました。

あすは午後2時から本会議を開催をいたします。

これをもちまして本日の会議を終了をいたします。

散会 14時25分